

令和2年度

教育功勞者功績概要

千葉県教育委員会

1 教育行政の部

神崎町教育委員会教育長 椿 勇

平成19年、神崎町教育委員会委員に就任。平成21年から同26年まで委員長を務め、平成27年、教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、「地域とともに歩む信頼された学校」を目標とし、数々の特色ある事業を展開した。まちづくりと連携し、「発酵」をテーマに地域人材を活用した教育を推進するとともに、若手教員の指導力向上、保・小・中の連携などに尽力した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市教育委員会教育長 嘉瀬 尚 男

平成24年、山武市教育委員会委員に就任。平成26年、教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、ICT教育を推進するためのタブレット端末の導入や、市内小中学校の統廃合を実施し、教育環境の充実に努めた。また、子供の「生きる力」を育む学習活動を推進するため、地域や行政が一体となって力を合わせ、協力し合えるプラットフォームづくりに尽力し、地域の教育力向上に努めるなど、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

芝山町教育委員会教育長 内 田 誠

平成27年、芝山町教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、ICT教育を推進するためのタブレット端末の導入や、小・中学校屋内運動場の天井等の耐震事業を実施するなど教育環境の整備充実に努めた。また、生涯学習や文化振興にも寄与した。一方、千葉県町村教育長協議会理事を務める等、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

前君津市教育委員会教育長 山 口 喜 弘

平成27年、君津市教育委員会の教育長に就任し、現在に至る。千葉県教育庁企画管理部長等の要職を歴任し、その豊富な知識と経験を活かし、学校再編の推進や学校給食共同調理場の供用開始、いじめ防止対策の強化など、数多くの課題に取り組んだ。特に、学校再編に関しては、学校再編基本方針、基本計画を策定し、小中学校の統合や特色ある学校づくりを着実に実行し、その道筋を築いた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鋸南町教育委員会教育長 富 永 安 男

平成27年、鋸南町教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、学童保育所と幼稚園舎の建設、小中学校へのエアコン整備など、教育環境の充実に努めた。また、「子育て広場」や「放課後子ども教室」を開催する等、社会教育を大きく推進した。さらには、早期の幼稚園保育料無償化、中学生までの給食費の無償化を実現し、子育て支援の拡充を図った。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

佐倉市教育委員会委員 菅 谷 義 範

平成21年、佐倉市教育委員会委員に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、医学的な見地から、教育委員会会議において地域の感染症の発生状況について見解を述べるとともに、学校事故対応への適切な助言を行うなど、円滑な学校運営に大きく貢献した。また、「教育ビジョン」などの取りまとめや教育関係行事について、具体的な方向性を示した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

元多古町教育委員会委員 菅 澤 勝 則

平成20年、多古町教育委員会委員に就任。11年にわたり教育委員を務めた。その間、委員長を2年、教育長職務代理者を4年2か月務めた。卓越した見識と豊富な経験を生かし、町立小学校の統合では適切な指導・助言を与えた。また、学校での読書の普及と図書館の充実に推進し、図書館の整備及び町立小中学校への学校図書館司書の配置に尽力した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市教育委員会委員 小野崎 一 男

平成21年、山武市教育委員会委員に就任。平成27・28年に委員長を務め、平成28年、教育長職務代理者に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、山武市の教育振興に尽力した。子供たちにとってより良い教育環境を提供していくことを考え、市内小中学校の統廃合に取り組むほか、適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

長南町教育委員会委員 中 村 尚 子

平成21年、長南町教育委員会委員に就任し、平成25・26年に委員長を務め、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、地域の子供たちが元気に安心して暮らせるように、日常的に子供にかかわり、相談や支援を行った。また、子どもの健全な成長を考え、学校と連携しながら児童虐待防止対策の推進に取り組んだ。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

木更津市教育委員会委員 武井紀夫

平成21年、木更津市教育委員会委員に就任し、現在に至る。卓越した見識と医師としての専門的な経験を生かし、児童・生徒の健康を管理する観点から助言を行い、安全・安心な学校運営に大きく貢献した。また、現在第2次を迎えている教育大綱の策定時においては、委員として医師及び保護者の観点から、子育て支援の充実等についての助言を行った。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁企画管理部長 藤谷 誠

昭和58年、市原市立国分寺台西小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁義務教育課副主査、同課管理主事、同企画広報課主査、同千葉地方出張所管理主事、同教育総務課主査、市原市立牛久小学校教頭、教育庁学校安全保健課指導主事、同教職員課管理主事、同課主席管理主事を経て、平成23年、市原市立国分寺台東小学校長。その後、教育庁教職員課任用室長、同教育総務課委員会室長、同企画管理部副参事、同学校安全保健課長、同教育総務課長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁教育振興部長 中村 敏行

昭和58年、柏市立柏第二中学校教諭。県内中学校教諭、教育庁総務企画課副主査、同教育計画課副主査、同企画広報課副主査、同義務教育課管理主事、同高校教育課管理主事、同山武地方出張所管理主事、成東町立成東中学校教頭、教育庁東上総教育事務所管理主事を経て、平成21年、大網白里町立季美の森小学校長。その後、教育庁指導課主任指導主事、同東上総教育事務所管理課長、同所次長、同葛南教育事務所長、同企画管理部副参事、同教職員課長、同教育振興部学校危機管理監を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

2 学校保健の部

八千代市立勝田台小学校学校医 木村 淑志

昭和53年、八千代市立阿蘇小学校等学校医に就任。以来、八千代市立勝田台小学校等、八千代市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、八千代市医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立小室小学校学校医 阿部 一憲

昭和54年、船橋市立小室小学校学校医に就任。以来、船橋市立小室中学校等、船橋市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、船橋市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立大津ヶ丘第一小学校学校医 小沼 宗心

昭和54年、柏市立大津ヶ丘第一小学校学校医に就任。以来、柏市立大津ヶ丘第二小学校等、柏市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、柏市医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立鱈ヶ崎小学校学校医 佐藤 憲尚

昭和54年、流山市立鱈ヶ崎小学校学校医に就任。以来、流山市立流山小学校等、流山市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、学校医として定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、流山市医師会理事、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

鎌ヶ谷市立道野辺小学校学校医 重 光 茂 栄

昭和52年、鎌ヶ谷市立道野辺小学校学校医に就任。以来、現在に至るまで、同校学校医として定期的に学校へ赴き、児童の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、鎌ヶ谷市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

君津市立南子安小学校学校医 茂 田 徹

昭和50年、君津市立南子安小学校等学校医に就任。以来、君津市立八重原小学校等、君津市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、君津木更津医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立千城台南小学校学校医 平 澤 與 枝 子

昭和49年、千葉市立千城台東小学校学校医に就任。以来、千葉市立千城台南小学校等、千葉市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、学校医として定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉県立船橋古和釜高等学校学校歯科医 杉 山 仁

昭和59年、千葉県立船橋古和釜高等学校学校歯科医に就任。以来、習志野市立屋敷小学校学校歯科医に就任し、34年の長きにわたり、定期歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童生徒の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。特に、学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉県立八街高等学校学校歯科医 谷 本 篤

昭和55年、千葉県立八街高等学校学校歯科医に就任。以来、八街市立川上幼稚園園歯科医等、八街市内複数校の園、学校の歯科医に就任し、40年の長きにわたり、定期的に学校へ赴き、歯科健康診断を行うなど、園児児童生徒の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、印旛郡市歯科医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元習志野市立大久保小学校学校歯科医 栗原 美津枝

昭和46年、習志野市立大久保東小学校学校歯科医に就任。以来、習志野市立大久保小学校等、習志野市内複数の園、学校の歯科医に就任し、41年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、園児児童の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。特に、学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立金杉台小学校学校歯科医 森 俊彦

昭和45年、船橋市立金杉台小学校及び高根小学校学校歯科医に就任。以来、鎌ヶ谷市立南部小学校、船橋市立金杉小学校学校歯科医に就任し、現在に至るまで、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童の健康の保持増進に積極的に取り組み、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元茂原市立東部小学校学校歯科医 宇佐美 昌三

昭和50年、茂原市立東部小学校学校歯科医に就任。以来、36年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、茂原市長生郡歯科医師会理事を務め、会員に歯科保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立第三中学校学校歯科医 齊藤 允昭

昭和52年、松戸市立第三中学校等学校歯科医に就任。以来、松戸市立第五中学校等、松戸市内複数校の学校歯科医に就任し、現在に至るまで、定期歯科健康診断を通して、児童生徒の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、松戸歯科医師会理事、専務理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉市立こてはし台中学校学校歯科医 小林 洋二

昭和47年、千葉市立こてはし台小学校学校歯科医に就任。以来、千葉市立小中台南小学校等、千葉市内複数校の学校歯科医に就任し、37年の長きにわたり、歯科健康診断を行うなど、児童生徒の健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、千葉市歯科医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉市立蘇我小学校学校薬剤師 水 野 茂

平成3年、千葉市立蘇我小学校学校薬剤師に就任。以来、千葉市立小谷小学校等、千葉市内複数校の学校薬剤師に就任し、令和2年3月に至るまで、卓越した知識と優れた技術を持って学校環境衛生検査を実施した。また、千葉県学校薬剤師会の会長を務め、千葉県内の学校薬剤師に対して学校環境衛生検査の重要性を先頭に立って指導するなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立布佐中学校学校薬剤師 松 島 明 子

昭和54年、我孫子市立布佐中学校学校薬剤師に就任。以来、千葉県立布佐高等学校（平成23年から我孫子東高等学校に校名変更）、我孫子市立布佐小学校学校薬剤師に就任し、現在に至るまで、卓越した知識と優れた技術を持って学校環境衛生検査を実施した。常に児童生徒のために指導及び助言を行うなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

3 芸術・文化の部

(1) 個人の部

千葉県美術会常任理事 石橋 亘

東京造形大学において彫刻を学ぶ。歩会、千葉県美術展覧会（県展）を中心に作品を発表する。「現代日本具象彫刻展（千葉県立美術館主催）」では、平成元年第3回及び同4年第4回において入選。県展では、昭和54・55年と入選を重ね、同59年には最高賞の県展賞を受賞。昭和58・59・60年には県展の実行委員、同60年以降は県展彫刻部門の審査員を務め、平成6年には千葉県美術会理事、令和2年から現職。千葉県美術会役員として県展の運営及び後進の育成に尽力し、本県の芸術・文化の進展に寄与した功績は大である。

千葉県美術会常任理事 唐木 尚 勇

陶芸家の神谷紀雄、人間国宝松井康成に師事し、陶芸を学ぶ。日本工芸会、千葉県美術展覧会（県展）を中心に作品を発表し、日本工芸会では、平成9年に第37回東日本支部伝統工芸新作品展で奨励賞を受賞。県展では、平成3・4・5年と入選を重ね、同11年には最高賞の県展賞を受賞。平成6・7・11年には県展の実行委員、同12年以降は県展工芸部門の審査員を務め、平成18年には千葉県美術会理事、同22年から現職。千葉県美術会役員として県展の運営及び後進の育成に尽力し、本県の芸術・文化の進展に寄与した功績は大である。

千葉県音楽振興協議会会長 鈴木 勲

平成13年から千葉県音楽振興協議会理事として同協議会の運営に携わり、平成22年から現在に至るまで会長を努める。千葉県音楽祭を毎年開催し、県内の優秀演奏団体が一堂に会して相互の演奏を発表・鑑賞できる場を設けることで、本県の音楽の普及・振興に尽力した。また、会長として演出内容の検討を主導し、県内音楽団体の技術水準の向上に大きく貢献するなど、音楽を通じて、本県の芸術文化振興に寄与した功績は大である。

山武市芸術文化協会会長 中村 幸雄

平成2年から旧成東町芸術文化協会常任理事として同協会の運営に携わり、平成16年に会長に就任後、合併を経て、平成18年より山武市芸術文化協会会長を務め、現在に至る。市芸術文化祭や、芸文協まつり等を開催するなど、多くの市民が伝統文化に触れる機会を提供することで、地域の文化振興に尽力した。また、千葉県芸術文化団体協議会理事として全県規模の芸術文化活動に取り組み、伝統芸能の活性化に尽力するなど、芸術文化を通じて、本県の芸術文化振興に寄与した功績は大である。

元千葉県文化財保護審議会委員 吉 良 芳 恵

日本近現代史、博物館学を専門とし、平成22年から令和元年まで千葉県文化財保護審議会委員を10年間勤めた。その間、県指定文化財である「柳原水閘」（松戸市）などの状況調査を通じて文化財の適切な保存を図り、県指定文化財「小金原のしし狩資料」への「稲葉神明社の絵馬」（八街市）の追加指定や、「茂原庁南間人車軌道人車」（茂原市）などの県指定文化財の新指定に重要な役割を果たし、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

元千葉県文化財保護審議会委員 福 田 健 二

森林植物学を専門とし、平成22年から令和元年まで千葉県文化財保護審議会委員を10年間勤めた。その間、県指定天然記念物である「小御門神社の森」（成田市）や「上野村ノ大椎」（勝浦市）などの状況調査を通じて文化財の適切な保存を図り、「町原大銀杏」（横芝光町）の県指定天然記念物の指定に重要な役割を果たした。また、千葉県生物多様性センターの事業にも協力し、千葉県と大学との連携など、自然保護行政の推進にも尽力し、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

千葉県文化財保護指導委員 柴 本 一 郎

君津・安房地域の小中学校の教員を務める傍ら、埋蔵文化財の発掘調査に協力し、『西山横穴群調査報告書』（富津市）や『千葉県安房郡三芳村明石遺跡確認調査報告書』（南房総市）などの発掘調査報告書の作成に携わる。平成8年から同23年、平成30年から現在まで19年にわたって千葉県文化財保護指導委員として委嘱を受け、主に安房地区に所在する国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地巡視活動に従事しており、本県の文化財保護の推進に寄与した功績は大である。

千葉県指定有形文化財所有者 古 金 小 一 郎

大多喜藩主の本多忠朝が家臣の古金右近に命じた新田開発に関する掟書「本多忠朝新田開発文書」及び「万喜原新田掟之条々」は、どちらも近世初期の新田開発の基本方針がわかる貴重な文化財として、平成8年3月、県の有形文化財（古文書）に指定された。これらの文化財を25年間にわたり良好な状態で保管するとともに、近隣の博物館の展示にも出品協力するなど、本県の文化財の保存及び活用に寄与した功績は大である。

八千代市文化財審議会委員 鏑 木 行 廣

歴史学を専門とし、特に印旛沼周辺の歴史に造詣が深く、『天保改革と印旛沼普請』や『佐倉惣五郎と宗吾信仰』などの著作のほか、多数の研究論文を執筆している。その間、昭和48年から八千代市文化財審議会委員として46年にわたり地域文化財の保護に努め、現在に至っている。その他、印西市史編さん委員として地域史研究と情報発信を精力的に続けており、本県並びに県内市町村への文化財保護及び地域振興に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

八街市文化協会

昭和31年の設立以来、八街市内の芸術文化団体相互の親睦を図り、教養を高め、同市の文化水準の向上に努め、もって社会に貢献することを目的に活動を続け、同市の文化振興の基盤を支えてきた。毎年
の市民文化祭を市と共同で主催し、多くの町民による日頃の活動成果発表の場、交流を深める場とすることに努め、また、平成27年から千葉県芸術文化団体協議会に加盟し、さらに活動の幅を広げるなど、本県の芸術文化振興に寄与した功績は大である。

市川民話の会

市川民話の会は市内に残る民話の収集・保存を目的に、昭和47年頃に始まった「いちかわ民話・伝説の会」を母体に昭和53年に結成された。月に一度の例会のほか、市の文化祭やさまざまなイベントへ参加したり、古老の話を聞く機会を設けたり、関連する史跡巡りなどの活動のほか、学校や公民館への民話に関する出前講座も、年間15回程度開催している。また、採話した民話の紙芝居やDVDを作成するほか、『市川のむかし話』の刊行を継続するなど、積極的な活動を行っており、本県及び市川市周辺の民俗文化財保護に寄与した功績は大である。

坂戸踊躍念仏講

佐倉市坂戸の西福寺の念仏講は、南北朝時代の応安年間に始まり、踊躍念仏は開山の良栄上人が広めたとされる。踊りは「あさがお」と「しもつけ」があり、花笠を背負い、扇を両手に持って優雅に踊るもので、特に33年に一度の行事である11月の大十夜には盛大なお練りが行われる。昭和55年2月、県指定無形民俗文化財に指定され、以来40年の長きにわたる活発な活動は、地域の文化振興に大きな役割を果たしており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

4 社会教育の部

(1) 個人の部

日本海洋少年団千葉県連盟会長 岡本政之

昭和40年、千葉市立新宿中学校にて海洋少年団活動に参加。準指導者、指導者を経て昭和47年に日本海洋少年団千葉県連盟事務局長に就任するとともに、「勝浦わかしお団」「浦安団」の結成に尽力した。昭和50年、千葉新宿団の副団長に就任。平成9年、海洋少年団活動を広く告知すべく「千葉北部団」を千葉市花見川区に結成し、団長として活動を続けている。平成20年から日本海洋少年団千葉県連盟会長を務め、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県子ども会育成連合会理事 細井和美

昭和59年に鎌ヶ谷市内の子ども会の会計に就任。平成3年に鎌ヶ谷市子連副会長に就任し、その運営に携わる。平成5年からは会長として子ども会の充実と発展、ジュニア・リーダーの育成に尽力する。千葉県子ども会育成連合会においては平成5年に理事に就任以来、通算25年間理事として活動。平成22年からは副会長、平成28年には常務理事として事業の企画・運営に寄与する。県子連や東葛支部内でも指導力を発揮し、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県ユネスコ連絡協議会副会長 大槻安明

平成14年から成田ユネスコ協会での活動を開始し、理事、事務局長、副会長を歴任した。平成23年、同会が主管した「関東ブロック・ユネスコ活動研究会」では、参加者350人を迎え、事務局長としてその手腕を発揮した。県ユ連においては平成21年から理事、同27年から副会長を歴任。平成29年から広報編集長として地域遺産に着眼し、「県連ニュース」で紹介シリーズを開始。「心の中に平和の砦を築く」ユネスコ精神を広げ、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

ガールスカウト千葉県連盟副連盟長 飯野三知子

平成元年より青少年育成団体ガールスカウト千葉県第1団に所属し、団運営員を1年務めた後、リーダーとして25年にわたり少女の育成指導に当たり、平成27年より現在に至るまで団委員長として団運営を熱心に行っている。ガールスカウト千葉県連盟の役員として、平成17年から同22年まで総務委員を6年、平成23年から同28年まで総務委員長を6年、令和元年度からは副連盟長を歴任し、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

日本ボーイスカウト千葉県連盟理事 小川 信一

昭和50年に船橋第3団の指導者となり、平成9年から地区副コミッショナー、地区コミッショナー、船橋地区委員長を歴任し、地区内の改革に尽力した。平成22年から10年間、県連盟理事を務め、県連盟の運営に貢献。また、日本ジャンボリーなどへのスカウトの派遣事業に数多く奉仕した。さらに、日本連盟リーダートレーナーとして多くの指導者を養成してきた。本県のボーイスカウト運動の普及・発展に寄与し、本県社会教育の進展に貢献した功績は大である。

(2) 団体の部

勝浦市婦人会

昭和31年、町村合併を機に、勝浦市婦人会として設立。以来、多年に渡り、かつうらビッグひな祭りの開催期間中、市内浜勝浦の遠見岬(とみさき)神社60段の石段一面に飾られる800体の人形について、毎日の飾り、片付けを行うなど、勝浦市・千葉県の観光発展に尽力した。また、市内の各所において組織的にボランティア活動に取り組んでいる。さらに、新型コロナウイルス感染予防のためどこよりも早く先頭に立ち、他団体に働きかけ、市内保育園、幼稚園、小中学校に手作りマスクの配布を行う等、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

日本海洋少年団千葉市連盟

「千葉市海洋公民館こじま」の開館を受け、昭和43年に結成。以来、「海に親しみ、海に学び、海にきたえること」を活動指針とし、カッター、カヌー等の海上訓練や青い羽根募金、漂着物調査などの奉仕活動を通して、多くの子供たちの健全育成に尽力した。また日本海洋少年団連盟や関東地区連盟の一員として全国大会や関東地区大会を主催、共催し、県内他団を牽引している。後輩の指導に当たる若手指導者も育ており、県内社会教育の進展に寄与した功績は大である。

ガールスカウト千葉県連盟

昭和45年、社会教育団体としてガールスカウト千葉県支部を設立。以来、「少女と若い女性がリーダーシップを発揮し、社会に役立つガールスカウト」を目指し、平成24年4月2日、一般社団法人ガールスカウト千葉県連盟として認可され、現在に至る。会員数約2,000人が「少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として、自ら考え、行動できる人となれる」を使命とし、ガールスカウト運動を通じて社会の形成を推進する事業を実施し、県内社会教育の進展に寄与した功績は大である。

5 学校教育の部

(1) 個人の部

ア 県立学校

千葉県立千葉商業高等学校長 岩瀬俊彦

昭和60年，千葉県立白井高等学校教諭。薬園台高等学校教諭，富里高等学校教諭，浦安市立堀江中学校教諭，教育庁指導課指導主事，千葉県立船橋特別支援学校教頭，津田沼高等学校教頭を経て，平成28年，生浜高等学校長。その後，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立船橋東高等学校長 稲好忠実

昭和58年，千葉県立船橋芝山高等学校教諭。千葉南高等学校教諭，松戸南高等学校教諭，総務部消防地震防災課主査，教育庁県立学校改革推進課副主幹，千葉大宮高等学校教頭，教育庁県立学校改革推進課高校改革プラン推進室長を経て，平成29年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，数学科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立小金高等学校長 松村智明

昭和59年，千葉県立沼南高等学校教諭。松戸市立松戸高等学校教諭，千葉県立柏高等学校教諭，清水高等学校教諭，幕張総合高等学校教諭，教育庁県立学校改革推進課副主幹，同指導課指導主事，小金高等学校教頭，千葉県総合教育センター研究指導主事，教育庁指導課主席指導主事，同主幹を経て，平成29年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立松戸南高等学校長 小室いづみ

昭和59年，千葉県立大原高等学校教諭。関宿高等学校教諭，松戸秋山高等学校教諭，千葉県子どもと親のサポートセンター指導主事，柏南高等学校教頭，松戸高等学校教頭，船橋高等学校副校長（定時制の課程）を経て，平成28年，船橋夏見特別支援学校長。その後，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，書道科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立東葛飾高等学校長 平 賀 洋 一

昭和59年、千葉県立多古高等学校教諭。柏西高等学校教諭，教育庁社会教育課社会教育主事，同高校教育課管理主事，同教職員課管理主事，山武市立成東中学校教頭，教育庁教職員課主任管理主事，同人事室長を経て，平成26年，成田北高等学校長。その後，現代産業科学館長を務め，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立大多喜高等学校長 川 崎 浩 祐

昭和58年，千葉県立小金高等学校教諭。幕張北高等学校教諭（平成8年から幕張総合高等学校に校名変更），教育庁体育課指導主事，同主査，幕張総合高等学校教頭，教育庁体育課副課長を経て，平成28年，千葉市立千葉高等学校長。その後，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立桜が丘特別支援学校長 林 田 かおる

昭和58年，千葉県立桜が丘養護学校教諭。袖ヶ浦養護学校教諭，桜が丘養護学校教諭，千葉特別支援学校教頭（平成19年から桜が丘特別支援学校に校名変更），つくし特別支援学校教頭を経て，平成27年，矢切特別支援学校長。その後，平成31年から現職。この間，学校経営に実績を上げ，特に，特別支援教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立特別支援学校流山高等学園校長 堀 子 榮

昭和58年，市川市立養護学校教諭。千葉県立市川養護学校教諭，養護学校流山高等学園教諭，教育庁教職員課管理主事，松戸特別支援学校教頭，教育庁教職員課人事室特別支援学校班長を経て，平成24年，八千代特別支援学校長。その後，教育庁教職員課人事室長，同東葛飾教育事務所長，同特別支援教育課長を歴任し，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立四街道特別支援学校長 平 野 洋 一

昭和61年，千葉県立四街道養護学校教諭。富里養護学校教諭，障害者高等技術専門校主査，印旛特別支援学校教諭，船橋特別支援学校教頭，千葉西高等学校教頭，八日市場特別支援学校教頭を経て，平成27年，飯高特別支援学校長。その後，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，特別支援教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

イ 市町村立学校

市川市立中山小学校長 望 戸 千恵美

昭和59年、市川市立養護学校教諭。管内小学校教諭、市川市教育委員会指導課副主幹、市川市立稲荷木小学校教頭、教育庁特別支援教育課指導主事、同教育課程指導室長を経て、平成29年、千葉県立習志野特別支援学校長。その後、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立中部小学校長 福 田 浩

昭和59年、松戸市立六実小学校教諭。管内小学校教諭、松戸市立北部小学校教頭、市内中学校副校長を経て、平成26年、松戸市立常盤平第三小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所主席指導主事、同指導室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立相模台小学校長 織 原 一 浩

昭和58年、松戸市立小金北小学校教諭。管内小学校教諭、県立手賀の丘少年自然の家社会教育主事、松戸市立幸谷小学校教頭、松戸市教育委員会学務課長補佐を経て、平成26年、松戸市立松飛台第二小学校長。その後、松戸市教育委員会学務課長を務め、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、人権教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立柏第一小学校長 山 辺 振一郎

昭和59年、東葛飾郡沼南町立大津ヶ丘第二小学校教諭。管内小学校教諭、沼南町教育委員会学校教育課指導主事、柏市教育委員会指導課指導主事、柏市立高柳西小学校教頭、柏市教育委員会指導課統括リーダーを経て、平成24年、柏市立風早南部小学校長。その後、教育庁学習指導課主席指導主事、同主幹兼学力向上室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立我孫子第一小学校長 山 口 祐 子

昭和56年、我孫子市立我孫子第二小学校教諭。市内小学校教諭、我孫子市教育委員会指導課指導主事、我孫子市立我孫子第四小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所指導主事を経て、平成26年、我孫子市立並木小学校長。その後、平成29年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の推進に寄与した功績は大である。

佐倉市立佐倉小学校長 稲田 亮 浩

昭和58年、四街道市立四街道中学校教諭。管内中学校教諭、八街市立八街中央中学校教頭、同八街北中学校教頭を経て、平成25年、印旛郡栄町立酒直小学校長。その後、栄町教育委員会学校教育課長、教育庁北総教育事務所主席指導主事、同指導室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立佐原小学校長 椎名 茂 雄

昭和58年、香取郡干潟町立東小学校教諭。管内小学校教諭、佐原市立新島小学校教頭、香取市立栗源小学校教頭、香取市教育委員会学校教育課管理主事を経て、平成26年、香取市立竟成小学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事、同指導室香取分室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立小見川中央小学校長 多田 洋 一

昭和56年、佐原市立竟成小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁体育課指導主事、神崎町立神崎小学校教頭、香取市立小見川中央小学校教頭、教育庁体育課指導主事を経て、平成27年、印西市立小林北小学校長。その後、香取市立新島小学校長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

神崎町立神崎小学校長 鈴木 剛

昭和59年、県立香取養護学校教諭。管内中学校教諭、銚子市立第八中学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、平成28年、銚子市立第七中学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

旭市立中央小学校長 石見 孝 男

昭和59年、銚子市立興野小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁教育総務課主査、旭市立中央小学校教頭、旭市教育委員会学校教育課管理主事、教育庁教職員課管理主事を経て、平成24年、旭市立三川小学校長。その後、旭市教育委員会学校教育課長を務め、平成29年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立東小学校長 内山正直

昭和58年、山武郡成東町立成東小学校教諭。県内小学校教諭、山武市立大富小学校教頭、教育庁東上総教育事務所指導主事を経て、平成27年、大網白里市立白里小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所主席指導主事、同山武分室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

横芝光町立横芝小学校長 佐瀬一生

昭和58年、松尾町立松尾小学校教諭。千葉大学教育学部附属小学校教諭、管内小学校教諭、山武町立山武北小学校教頭、千葉県総合教育センター研究指導主事、教育庁指導課指導主事、国立大学法人千葉大学教育学部附属教育実践センター准教授、同教員養成開発センター准教授、教育庁東上総教育事務所主席指導主事を経て、平成28年2月、九十九里町立九十九里小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所山武分室長を務め、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立茂原小学校長 長島貴浩

昭和58年、茂原市立茂原小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁長生地方出張所管理主事、白子町立関小学校教頭、教育庁東上総教育事務所管理主事を経て、平成21年、長生村立一松小学校長。その後、教育庁指導課主任指導主事、同教職員課主席管理主事、同教育政策課教育広報室長、同教育総務課委員会室長、同葛南教育事務所長、同教育政策課長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鴨川市立天津小湊小学校長 洲永康弘

昭和59年、鴨川市立長狭中学校教諭。県内中学校教諭、国立中央青少年交流の家企画指導専門職、鴨川市教育委員会生涯学習課社会教育主事、鴨川市立小湊小学校教頭、教育庁生涯学習課社会教育主事を経て、平成28年、君津市立貞元小学校長。その後、鴨川市教育委員会学校教育課長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鋸南町立鋸南小学校長 樋口和夫

昭和58年、野田市立東部中学校教諭。管内小中学校教諭、鴨川市立長狭中学校教頭、南房総市教育委員会教育総務課主任管理主事、南房総市立南三原小学校教頭、南房総市教育委員会子ども教育課主任指導主事を経て、平成27年、南房総市立富山小学校長。その後、教育庁南房総教育事務所指導室主席指導主事、同安房分室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別活動の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

富津市立天羽小学校長 横田 経一郎

昭和58年、木更津市立木更津第二小学校教諭。管内小学校教諭、富津市教育委員会学校教育課指導主事、富津市立関豊小学校教頭、富津市教育委員会教育センター所長、教育庁南房総教育事務所指導主事を経て、平成27年、富津市立天神山小学校長。その後、教育庁南房総教育事務所主席指導主事、同指導室長、富津市立湊小学校長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立ちはら台桜小学校長 庄 司 彰

昭和59年、市原市立富山小学校教諭。管内小学校教諭、市原市立五井小学校教頭、同市立加茂小学校副校長を経て、平成26年、市原市立戸田小学校長。その後、教育庁南房総教育事務所主席指導主事、同指導室長、同次長を経て、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立新宿小学校長 中 嶋 のり子

昭和59年、千葉市立院内小学校教諭。市内小学校教諭、千葉市立幕張小学校教頭、千葉市教育委員会指導課指導主事、同主任指導主事を経て、平成27年、千葉市立小中台小学校長。その後、千葉市教育委員会指導課統括指導主事、千葉市教育委員会教育指導課長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立小中台小学校長 伊 原 浩 昭

昭和58年、千葉市立みつわ台中学校教諭。市内中学校教諭、教育庁社会教育課副主査、千葉市教育委員会生涯学習振興課副主査、国立教育政策研究所専門調査員、千葉市教育委員会企画課主査補、千葉市立若松台小学校教頭、千葉市教育委員会学事課管理主事、同教育センター主任指導主事を経て、平成25年、千葉市立上の台小学校長。その後、千葉市教育委員会企画課統括管理主事、同課長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市川市立第一中学校長 林 直 也

昭和58年、市川市立第三中学校教諭。管内中学校教諭、市川市教育委員会義務教育課副主幹、市川市立第一中学校教頭、教育庁教職員課管理主事を経て、平成26年、市川市立下貝塚中学校長。その後、教育庁葛南教育事務所管理課長、東葛飾教育事務所長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

浦安市立浦安中学校長 小澤力雄

昭和59年、浦安市立北部小学校教諭。管内中学校教諭，教育庁葛南教育事務所管理主事，浦安市立堀江中学校教頭を経て，平成23年，浦安市立富岡中学校長。その後，浦安市教育委員会指導課長，同学務課長，同教育総務部次長，同教育総務部長を歴任し，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，生徒指導の充実に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

浦安市立明海中中学校長 寺尾里代

昭和60年，浦安市立入船中学校教諭。管内小中学校教諭，浦安市教育委員会指導課副主幹，浦安市立北部小学校教頭，同見明川中学校教頭を経て，平成27年，浦安市立日の出中学校長。その後，教育庁葛南教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，音楽教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立柏中学校長 内田守

昭和58年，松戸市立第二中学校教諭。管内中学校教諭，柏児童相談所児童福祉司，柏市立教育研究所指導主事，柏市立柏中学校教頭，柏市教育委員会学校教育課統括リーダーを経て，平成25年，柏市立高柳中学校長。その後，柏市立教育研究所長，柏市教育委員会学校教育部長を歴任し，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，理科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立田中中学校長 岩崎耕児

昭和58年，鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校教諭。管内中学校教諭，柏市立教育研究所指導主事，柏市立中原中学校教頭，教育庁東葛飾教育事務所指導主事を経て，平成26年，柏市立風早中学校長。その後，教育庁東葛飾教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，理科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立東部中学校長 岩本守

昭和59年，流山市立東深井中学校教諭。管内中学校教諭，流山市教育委員会指導課指導主事，流山市立南流山中学校教頭，教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て，平成26年，流山市立東深井中学校長。その後，教育庁東葛飾教育事務所管理課長，同次長を歴任し，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立南流山中学校長 小 澤 豊

昭和58年、野田市立第一中学校教諭。管内小中学校教諭，流山市教育委員会学校教育課管理主事，流山市立東部中学校教頭，教育庁教職員課管理主事を経て，平成25年，我孫子市立久寺家中学校長。その後，流山市教育委員会学校教育部次長，同部長を歴任し，平成30年より現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，国語科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

四街道市立四街道中学校長 横 山 昌 彦

昭和58年，佐倉市立千代田小学校教諭。管内小学校教諭，教育庁印旛地方出張所社会教育主事，同文化財課文化財主事，八街市立交進小学校教頭，教育庁教職員課管理主事を経て，平成24年，成田市立川上小学校長。その後，教育庁教職員課任用室長，同東上総教育事務所長，同教育振興部副参事，同児童生徒課長を歴任し，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

富里市立富里中学校長 東 城 孝

昭和58年，印旛郡八街町立八街中央中学校教諭。管内中学校教諭，佐倉市教育委員会学校教育課指導主事，千葉県総合教育センター指導主事，教育庁指導課指導主事，千葉県立匝瑳高等学校教頭，八街市立八街中央中学校教頭を経て，平成26年，白井市立桜台中学校長。その後，千葉県立四街道北高等学校長を務め，平成31年より現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，理科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

神崎町立神崎中学校長 萩 原 剛

昭和58年，香取郡神崎町立神崎中学校教諭。管内中学校教諭，佐原市及び香取市教育委員会学校教育課指導主事，神崎町立神崎小学校教頭，教育庁学校安全保健課指導主事を経て，平成27年，神崎町立米沢小学校長。その後，平成29年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，数学科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

匝瑳市立八日市場第二中学校長 椎 名 和 浩

昭和58年，匝瑳郡光町立東陽小学校教諭。管内中学校教諭，教育庁海匝地方出張所指導主事，同義務教育課管理主事，同企画広報課主査，同企画財務課主査，匝瑳郡光町立光中学校（平成18年から山武郡横芝光町立光中学校に校名変更）教頭，教育庁北総教育事務所管理主事，同学校安全保健課指導主事を経て，平成23年，匝瑳市立共興小学校長。その後，匝瑳市教育委員会学校教育課長を務め，平成27年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，美術科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立東中学校長 澤 畑 俊 哉

昭和59年、東金市立東金中学校教諭。管内中学校教諭、山武市立蓮沼中学校教頭、教育庁東上総教育事務所指導主事、東金市教育委員会学校教育課主幹を経て、平成27年、山武市立山武中学校長。その後、東金市教育委員会学校教育課長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立西中学校長 植 草 貴久男

昭和58年、東金市立東金中学校教諭。管内中学校教諭、アンカラ日本人学校教諭、教育庁東上総教育事務所指導主事、山武市立蓮沼中学校教頭、教育庁指導課指導主事を経て、平成27年、山武市立蓮沼中学校長。その後、教育庁指導課主席指導主事、同学習指導課教育課程室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、音楽科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立大原中学校長 田 邊 稔

昭和59年、夷隅郡大原町立大原小学校助教諭。県内中学校教諭、教育庁学校保健課指導主事、同県立学校改革推進課副主幹、勝浦市立興津中学校教頭、千葉県子どもと親のサポートセンター指導主事、千葉県警察本部少年課長補佐を経て、平成26年、大多喜町立西中学校長。その後、教育庁指導課生徒指導・いじめ対策室長を務め、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大多喜町立大多喜中学校長 佐久間 靖 夫

昭和60年、君津市立坂畑小学校教諭。県内小学校教諭、デュッセルドルフ日本人学校教諭、千葉県立東部図書館協力課長、教育庁東上総教育事務所指導主事を経て、平成27年、勝浦市立興津小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所指導室夷隅分室長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

御宿町立御宿中学校長 新 井 勝

昭和58年、我孫子市立湖北中学校教諭。県内中学校教諭、教育庁指導課指導主事、千葉県総合教育センター研究指導主事、教育庁教職員課管理主事、いすみ市立国吉中学校教頭、教育庁東上総教育事務所指導主事を経て、平成27年、勝浦市立興津中学校長。その後、いすみ市教育委員会生涯学習課長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

館山市立第二中学校長 田村正雄

昭和59年、柏市立富勢中学校教諭。県内中学校教諭、千葉県総合教育センター研究指導主事、鋸南町立鋸南中学校教頭、教育庁指導課指導主事、千葉県警察本部少年課長補佐を経て、平成28年、館山市立豊房小学校長。その後、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、生徒指導の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鴨川市立鴨川中学校長 吉田洋一

昭和59年、千葉市立千城台西中学校教諭。県内中学校教諭、教育庁生涯学習課社会教育主事、南房総市立富山中学校教頭、教育庁南房総教育事務所管理主事、同教職員課管理主事を経て、平成24年、鴨川市立西条小学校長。その後、教育庁南房総教育事務所管理課主席管理主事、同管理課長、同次長、教育庁東上総教育事務所長を歴任し、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

富津市立天羽中学校長 高梨正巳

昭和58年、木更津市立金田中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁学校安全保健課指導主事、富津市立富津中学校教頭、富津市教育委員会学校教育課主幹を経て、平成27年、富津市立天羽中学校長。その後、富津市教育委員会教育部参事兼学校教育課長を務め、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立ちはら台南中学校長 駒澤敏宏

昭和59年、市原市立五井中学校教諭。管内中学校教諭、市原市教育委員会学校教育課副主査、同主査、市原市立南総中学校教頭、市原市教育委員会学校教育課副主幹を経て、平成25年、市原市立市東中学校長。その後、教育庁南房総教育事務所主席管理主事、同管理課長、同次長を歴任し、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立加曾利中学校長 増澤保明

昭和59年、千葉市立加曾利中学校教諭。管内中学校教諭、千葉県環境生活部自然保護課主査、教育庁指導課指導主事、千葉県総合企画部政策推進室副主幹、千葉市立磯辺第二中学校教頭、千葉市教育委員会教職員課管理主事、同課長補佐を経て、平成25年、千葉市立高洲第二中学校長。その後、千葉市教育委員会教職員課統括管理主事、同教育センター副所長、同所長、千葉市立磯辺中学校長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立新宿中学校長 根本 厚

昭和59年、千葉市立都賀中学校教諭。管内中学校教諭、県総合教育センター研究指導主事、千葉市立有吉中学校教頭、千葉市教育センター指導主事、同教育委員会教職員課管理主事を経て、平成27年、千葉市立千草台中学校長。その後、千葉市教育委員会教職員課統括管理主事、千葉市教育センター所長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市教育委員会学校教育部長 山下 敦史

昭和59年、千葉市立椎名小学校教諭。管内小学校教諭、千葉市教育委員会保健体育課指導主事、千葉市立高浜第一小学校教頭、千葉市教育委員会教職員課管理主事、同課長補佐を経て、平成26年、千葉市立大巖寺小学校長。その後、千葉市教育委員会教職員課統括管理主事、同課長、千葉市教育委員会学事課長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

千葉県立成田国際高等学校

昭和50年、千葉県立成田西高等学校として開校。以来、英語教育の先進校、また、国際教育を推進する学校として高い実績を上げている。平成24年度に文部科学省「英語力を強化する指導改善の取組」、平成25年度に文部科学省「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」の指定校となり、さらに、平成27年度に文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」として指定を受け、5年間研究開発を続けてきた。課題研究をはじめとする研究成果や、英語教育の実践は広く公開され、高く評価されている。これらの実践が本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立松尾高等学校

明治42年開校。以来、地域社会との連携を深めつつ個に応じた教育を実践している。福祉コースを含む5コース制を導入する一方、英語教育拠点校、グローバル化に関する学び導入校として、先進的な取組を続け、実績を上げている。平成27年度に文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」として指定を受け、5年間研究開発を展開してきた。「地域から考えるグローバルエイジング研究」（福祉と高齢化）という研究開発課題のもと、取組を進め、その研究成果は、具体的な提言としてまとめられ、実際に高齢者との交流会等として実現しており、地域社会に貢献している。その教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立夷隅特別支援学校

昭和55年、千葉県立夷隅養護学校として開校。以来、千葉県における知的障害教育の充実発展に努めてきた。平成24年度に千葉県教育委員会の「センター的機能としての支援機能をめざす取組」の研究指定を受け、小学校の通級指導教室への指導・支援の在り方についてまとめた。平成29年度から令和元年度までの3年間、文部科学省の「特別支援教育に関する実践研究事業」の指定を受け、小学部段階から連続したキャリア教育支援の在り方について研究をまとめた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立君津特別支援学校

昭和54年、千葉県立君津養護学校として開校。以来、千葉県における知的障害教育の充実発展に努めてきた。平成27・28年度に千葉県教育委員会の「一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程」の研究指定を受け、障害の多様化に対応した教育課程の類型化に取り組んだ。平成29年度から令和元年度までの3年間、文部科学省の「特別支援教育に関する実践研究事業」の指定を受け、新学習指導要領の導入に向け、知的障害のある児童生徒の学習指導と評価の在り方について研究をまとめた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立柏第三小学校

昭和23年開校。以来、柏市の中心地に位置する学校として、地域コミュニティの核となるべく、その役割を担って地域とともに発展してきた。平成20年度には、柏市教育委員会、千葉県教育委員会から研究指定を受けた、キャリア教育についての公開研究会を開催し、地域事業所や商工会議所も巻き込んだ幅広い教育活動を展開した。さらに平成30・31年度に千葉県教育委員会「地域における食育推進事業」として指定を受け、地域に根差した食育を展開するべく、意欲的かつ幅広い活動を展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立名戸ヶ谷小学校

昭和52年開校。以来、地域とともにある学校として、近隣の幼保、小中学校との強い連携をもとに、青少年健全育成推進協議会の活動にも積極的に参加してきた。校地周辺は水田に囲まれ、学区内の名戸ヶ谷ビオトープの保存活動と並行して農業体験活動に積極的に取り組み、田植えから収穫まで全児童が関わる活動を展開している。さらに平成30・31年度に千葉県教育委員会「地域における食育推進事業」として指定を受け、地域に根差した食育を展開するべく、意欲的かつ幅広い活動を展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立我孫子第三小学校

昭和24年開校。以来、70年以上にわたり、PTAや地域との協力関係を着実に積み上げてきた。平成31年度に千葉県教育委員会「千葉県通学路推進事業」及び我孫子市教育委員会の研究指定を受け、中学校区4校で取り組む交通安全教育の拠点校として、調査・研究の中心になり、広く授業を公開し、併せて教育ミニ集会等も展開してきた。「自分の命を自分で守ることができる児童生徒の育成～地域や関係団体との連携を通して～」を研究テーマとし、PTAや地域のボランティアとの協力・連携により、1年間交通事故0(ゼロ)の目標を達成しただけでなく、児童生徒の交通安全に対する意識を高めることができた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

栄町立竜角寺台小学校

平成元年開校。平成22年度以来、算数科教育推進校として国立教育政策研究所、千葉県教育委員会等との連携を深めつつ、先進的な取組をし、研究実績を上げている。平成22・23年度に「栄町学校教育振興会研究指定校」、平成27・28年度に「印旛地区教育委員会連絡協議会研究指定校」として研究を重ね、さらに、平成29年度から令和元年度まで、千葉県教育委員会「ちばっ子の学び変革」推進事業研究指定校として「主体的・対話的で深い学び」を追求する研究活動を展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大網白里市立瑞穂小学校

明治6年開校。以来、心豊かな心身ともに健康でたくましい児童の育成に取り組み、成果を上げてきた。平成24年度「いきいきちばっ子コンテスト『遊・友スポーツランキングちば』」年間大賞受賞。平成29年度山武教育研究会体育部会「大網白里市・九十九里町ブロック体育研究校」、交通安全基礎教育モデル事業」実施校。平成30年度千葉県学校体育優良校受賞、関東甲信越静学校保健大会で実践発表。令和元・2年度千葉県教育委員会『『学力・学習状況』検証事業』協力校、令和2年度「学力向上交流会」実践協力校。これらの教育実践は高く評価され、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

長生村立高根小学校

明治6年開校。以来、夢の実現をめざし、たくましくチャレンジする児童の育成に取り組み、大きな成果を上げてきた。平成25年度から同27年度に千葉県農業協同組合中央会「学童農園推進事業」、平成28年度に千葉県農業協同組合中央会「食育活動支援事業」平成28・29年度千葉県教育委員会「地域における食育指導推進事業」、平成29年度千葉県教育委員会「食に関する指導事業東上総地区研究協議会」、平成30年度千葉県教育委員会「学校安全教室講習会」実施校、平成29年度から令和元年度に千葉県教育委員会「ちばっ子の学び変革」推進事業研究指定校として実践発表。これらの教育実践は高く評価され、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大多喜町立大多喜小学校

明治7年開校。以来、地域の学校として、夢や希望をもち、元気に学ぶ児童の育成に取り組み、成果を上げてきた。平成22年度から同24年度に「体力づくり推進モデル校」認定、平成27年度「千葉県教育研究会理科教育部会」実践発表、平成28・29年度千葉県教育委員会「地域における食育指導推進事業」拠点校として、また授業公開を通して実績を残した。平成30年度千葉県教育委員会「確かな学びの早道『読書』事業」実践協力校として研究に取り組み、令和元年度千葉県教育委員会「学力向上交流会」では実践発表して成果を広めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

習志野市立第三中学校

昭和42年開校。以来、先進的な研究テーマを設け、研究実績を上げてきた。平成29年度からの3年間、千葉県教育委員会「ちばっ子の学び変革」推進事業の研究指定を受ける。研究主題「主体的に学ぶ力を伸ばす指導の探究 ～『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善～」を掲げ、「三中学びスタイル」や言語活動の工夫等により3年計画で研究を進めた。平成30年度には、公開研究会を開催し、授業の流れを概観させて学習の見通しをもたせるような授業展開を通して、取組の成果を県下に広めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立湊中学校

昭和36年開校。以来、学校教育目標である「生徒一人一人を深く理解し、豊かな人間性を養うとともに、未来に生きる意志・能力・態度を育成する」ため、教育活動の充実に邁進している。平成27年度から千葉県教育委員会「学校保健」の研究指定を2年間受け、また、平成28年度から船橋市教育委員会指定健康教育研究校を3年間受け、研究主題「いのち・こころ・人とのつながりを育む健康教育の充実」のもと、自己肯定感・自己有用感を高め、未来に生きる意志・能力・態度の育成を目指す実践研究を進めた。その教育実践は高く評価され、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鴨川市立安房東中学校

平成17年開校。以来、学区の小学校とともに「9年間の学びの連続性」と「小・中学校間のなめらかな接続」を大切にされた施設分離型小中一貫教育を推進し、研究実績を上げている。平成23・24年度に安房地区教育委員会連絡協議会の研究指定を受け、その成果を広めた。さらに、平成26年度は、千葉県教育委員会「実践的防災教育総合支援事業」研究指定、令和元・2年度は、日本学校歯科医会・千葉県教育委員会「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」において、小学校とのつながりを意識した実践に取り組むなど、幅広い活動を展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立土気南中学校

平成3年開校。以来、「自律・創造・母校愛」を学校教育目標に掲げ、地域社会との連携を深めつつ、先進的な取組を行い、研究実績を上げている。平成26年度の千葉県NIE推進協議会の実践校としての取組、平成30年度の千葉県教育研究会造形教育部会研究発表大会の会場校としての取組など、いずれも大きな成果を上げている。さらに、「環境学習モデル校」「ボランティア活動推進協力校」としても幅広い活動を展開した。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。